

## 保育計画成果報告書

法人名等	株式会社 中川
施設名	小規模保育園 みその
報告者（役職）	中川 孝志（ 代表取締役 ）
住所・連絡先	愛媛県松山市余戸中 3 - 1 0 - 3 5
	☎ 089-972-3250 E-mail

○タイトル（保育計画）

遊びの中で体幹を！

○主な助成備品

・大型遊具 ・ままごとテーブル ・とび石 ・鉄棒

### 1. 保育計画策定の目的

当園は平成 28 年 4 月に小規模保育園として、マンション 1 階に開園しました。

マンション 2 階部分に小さな園庭はありますが、十分に遊べる遊具が整備できていない現状です。

近隣にいくつかの公園はあるものの、少しの距離が小さな子どもたちにとっては大きな距離のため、自園の園庭で満足いくまで遊べるよう、今回の遊具購入に至りました。

### 2. 具体的な実施内容

#### (1) 大型遊具



- ・順番を守って遊ぶといったルールが身についた。
- ・下の部分がトンネルとして使え、小さな0歳児の子どもも楽しめた。

## (2) ままごとテーブル



- ・コップやお皿などを並べ、お店屋さんやままごと遊びができるようになった。
- ・水分補給の時間には全員で座り、楽しく休息ができた。

## (3) とび石



- ・並べる順番や間隔など、年齢に応じ調節し楽しんだ。
- ・体幹機能の発達と、危険を察知する注意力が育つと感じた。

## (4) 鉄棒



- ・個々に合わせた活動をしていく。
- ・ぶら下がることで筋力、バランスなど身につけていった。

### 3. その成果と評価

- ・ 大型遊具が設置され、子どもたちの喜ぶ姿や、楽しそうに遊ぶ姿がとても印象的でした。
- ・ 1歳児の子どもたちは、2歳児の遊ぶ姿を真似し、積極的にチャレンジしようとする姿が増えました。
- ・ 何も無かった園庭で、登る、降りる、滑る、渡る、ぶら下がるなど全身を使って遊ぶことができるようになり、体のバランスをとる動きや体を移動する動きを体験できるようになりました。

### 4. 今後の課題と展望

遊具が増えたことで、子ども達は積極的に体を動かし、のびのびと遊ぶことができるようになりました。

しかし、子ども達の自主性にまかせるだけでなく、保育士としてさらに展開性のある遊びや環境を提供していく必要があると感じました。

プラスの経験の一つでも多くできるよう、これからも保育士全員で子ども達の笑顔を大切に環境提供に努めていきたいと思います。

以上